

■宣言者：市民生活部長 芹生泰博

部の使命・方針

・市民生活に直結した部署として、市民目線に立った行政の推進を図る。また、市民と接する職員個々の能力を発揮できるよう、人材の育成と業務能力の向上を図る。
 ①ワンストップサービスの提供により、満足度が高い窓口事務・接遇を目指す。また、マイナンバー制度の適正な運用を図るとともに、市民の利便性の向上につながる取組を進める。
 ②環境にやさしい暮らしの普及と実践を通じ美しいまちづくりを目指す。また、ごみ処理に関しては、循環型社会の実現、ごみ処理一元化等による効率的な運営を目指す。
 ③市民が生涯を通じて、健康で明るく元気に暮らすことができるよう、健康に関して市民の主体的な取組を促し、意識の高揚を図り、健康寿命の延伸を目指す。
 ④国民健康保険、後期高齢者医療、各種福祉医療、年金など安心できる医療等を提供する。また、医療費の適正化等制度の適切な運用を図る。

平成29年度重点目標	目標の概要	達成基準	達成度
1 市域のごみ処理体制の一元化	小野加東加西環境施設事務組合における滝野地域の可燃ごみ処理へ向けた取組を進めるとともに、当該地域の残土処分地の調整を進める。	北播磨清掃事務組合脱退に関する財産処分の合意を得るとともに、残土処分地については地域との調整を終える。	達成基準を下回る
2 国民健康保険の安定運営	平成30年度からの国民健康保険の運営に係る兵庫県広域化（兵庫県単一化）の準備を完了させ、持続可能な医療保険制度の構築を進める。	兵庫県及び国民健康保険連絡協議会との連携により、国保事業費納付金の基になる保険税率を決定する。	達成基準を上回る
3 空き家等の適正な管理と利活用	空き家等の実態調査を踏まえ、空き家等対策計画を策定し、市の総合的な対策指針として推進する。	審議会及び庁内会議での検討・審議を経て、空き家等対策計画を策定する。	達成基準を上回る
4 子育て支援の充実	妊娠期から子育て期の支援体制構築により、子育てについての安心感のあるまちづくりを目指す。	新生児聴覚検査助成事業の実施により、聴覚障害児に対する支援（フォロー）率を100%とする。	達成基準どおり